

沈黙の春から復興へ

ふれあい通信
ふれあいでつなぐ
ふれあいでつなぐ

東北にも待つていた春がすぐそこまで来たはずの3月11日、マグニチュード9.0という未曾有の災害が襲った。東北ではいくたびかの巨大津波の被災経験をもとにして備えていたものの、予想を絶する津波の前にはむなしく、犠牲者・不明者は二万を超える惨状となった。住居を失い、酷寒にぬれた衣類をまとい身ひとつ助かった人々を襲ったのは、人類最先端科学を駆使した国策事業福島原子力発電所の放射能漏れ事故であった。以来、マスメディアの発する第一語は「フクシマ」から始まる毎日となった。自然のしうちはあまりにも皮肉でひどい。だが、どの被災者も多くを語らない。東日本大震災の傷の深さはだれかが代弁できるほど軽いものではなく、東北は「沈黙の春」となった。

しかし、救援に駆けつけた諸外国はみていた。「殺し合いや略奪が起きて当然な状態なのにもかかわらず、東北の被災者は避難所などで順番待ちの列をつくる(タイ国)し、自制力により世界各地のそれと違う光景をつくっていた(中国)」、「被災者はその立場を、我慢と表現した(米紙タイム)」。私は被災者の沈黙は、絶望・あきらめを表わすものとは思わない。我慢を神髄とする東北人だと信ずるからだ。救援に駆けつけた諸国にとつての関心事は、かつて第二次世界大戦敗戦のどんぞこから這い上がり、世界の経済大国にまで押し上げた日本国民の気質であつたらう。諸国の救援隊にとつては、奇しくも1000年に一度の東北大震災で素っ裸の東日本の被災者と触れる機会であつた。「平時はよく論争する日本人なのに、大きな危機には即座に團結する一貫性と協調性は、復興の源泉とみる(中国)」、「常磐道修復の驚異的な速さから、日本は必ず早期に復興を成し遂げるだろう(ロシア・ブラウダ紙)」。このように、東北の被災者は、厳しい自制



先崎 武
(飯豊出身/会長)

力によつて世界の国々を驚嘆させ、また、国・公共を頼らない救援ボランティアの組織的行動は、強い感動を与えた。世界の主要国首脳は、大震災を受けた東日本の被災者から貴重な教訓を受け、自国の模範にしたいと思つている。東北人の寡黙は、日本人の自中心・勤勉な態度のふるさとなのだ、私には思える。東北は必ず沈黙の春からよみがえると確信する。そのときの東北は、いま、悲しみ・飢え・失業・寒さを味わいながらの日々を送っている人々により、また、その背中を見ている子どもたちにより復興し、再び世界の国々に感銘を与え、教訓を示すことになるだろう、とも予想している。

小野町子育て支援センターからのお知らせ

町では、子育て支援の充実を図るため、夏井おおすぎ保育園内に「小野町子育て支援センター」を開設しています。小野町子育て支援センターでは、子育て家庭同士が交流し、安全に楽しめる「あそびの広場」や、さまざまな育児の相談に応じ、子育てに関する情報を提供する「育児相談」などを行っています。町内にお住まいの就学前のお子さん、保護者およびそのご家族すべてが対象となりますので、お気軽にご利用ください。

■あそびの広場

毎週火曜日と土曜日に、あそびの広場を実施しています。時間は、午前9時30分から午前11時30分までです。詳細は、右表年間計画表をご覧ください。

■育児相談

あそびの広場を通して育児相談をお受けします。また、電話による相談もお受けします。

▷電話相談

月曜日～金曜日 12:00～16:00

問教育委員会教育課 ☎72-6780

問小野町子育て支援センター ☎72-2760

(夏井おおすぎ保育園内)

平成23年度「あそびの広場」年間計画表

月	曜日	時間	主な内容	備考
5月			みんなであそぼう お母さんありがとう	こどもの日 母の日
6月			お砂であそぼう お父さんありがとう	父の日
7月			お水であそぼう(プール・水鉄砲)	水着などを準備してください
8月			お水であそぼう(プール・水鉄砲)	水着などを準備してください
9月			おじいちゃんおばあちゃんありがとう	敬老の日 人形劇観劇
10月	火・土	9:30～11:30	体を動かしてあそぼう おはなしだいずき(絵本を読もう)	
11月			リズムあそびをしよう	七五三
12月			雪・そりあそび	手袋、帽子、スキースーツなどを準備してください
1月			雪・氷あそび お話を聞こう	おはなし会 手袋、帽子、スキースーツなどを準備してください
2月			鬼をおいだそうね	節分
3月			大きくなったね	

☆保育園行事により利用できない日もありますので、広報おのまち「行事カレンダー」をご確認ください。